

6.1 事業の工程

以上の取組みについては、次の表に示す工程を予定しています。

表9 事業の工程

項目	検討期間														備考		
	計画期間																
	年度																
	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		R13	
下郷第1水源の紫外線処理設備(安全)																←→	
三隅中水源の紫外線処理設備(安全)																←→	
長門地区新浄水場の整備(安全・持続・強靱)																←→	
湯本浄水場の更新(安全・持続・強靱)																←→	
三上山配水池の更新(安全・持続・強靱)																←	
管路更新と地区間連絡管の整備(持続・強靱)																←	
事業費の抑制と財源の確保(持続)																←	

6.2 フォローアップ

この度策定した「長門市水道ビジョン」は、市として初めて掲げたものです。将来世代へ向けて長門市の水道を正しく受け継いでいくためには、このビジョンによる施策が、レベルアップや見直しを加えられつつ履行され、更に次なる計画期間に対する次期ビジョンへ引き継がれていく必要があります。

施策の履行状況とその効果は、目標のベンチマーク(第4章4.2)を活用しつつ、PDCA^{※1}サイクルにより確認して、次なるビジョンと施策へつなげていくこととします。

また、施策の履行状況等を確認するため、フォローアップを行い、5年後を目途に中間報告を行う予定とします。

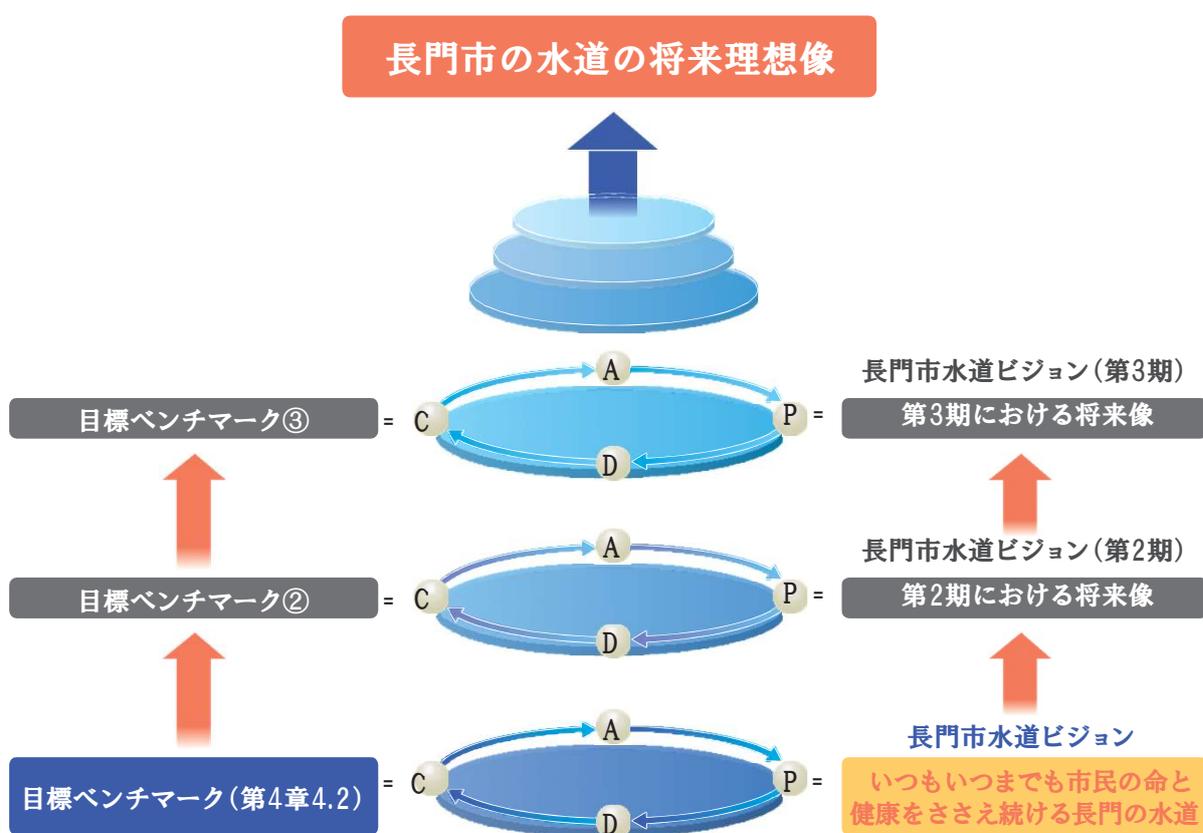


図33 水道ビジョンへのフォローアップ

※1:P (計画: Plan)、D (実行: Do)、C (照査: Check)、A (改善: Action) の項目からなる循環サイクルで、このサイクルをまわすことにより、継続的により良い方向を目指して進んでいくことができます。

6.3 おわりに

この度は、長門市の水道事業の現状と課題を把握・抽出して、将来へ向けた施策を明らかとする「長門市水道ビジョン」を策定しました。

水道事業の経営環境は、更新需要の増大と料金収入の減少という、両者が背反するギャップの拡大が見込まれることから、更に厳しさを増していきそうです。また、いつも安全で十分な量の水供給を担うという従来からの社会的要請に応えつつ、災害対策の強化やクリプトスポリジウム等の新たな課題を乗り越えていかなければなりません。

このビジョンで掲げた実現方策に対する事業費は、ダウンサイジング等への積極的な取組みにより抑制していかなければなりません。その抑制を前提としたうえでも不足する財源については水道料金のアップや起債(借金)等による手当てを考えていかなければなりません。

今回のビジョン、更にはこれを適切にフォローアップし、PDCAサイクルを循環させ続けることにより、長門市の水道は、レベルアップを続けていけるものと考えています。

以上をもちまして、「長門市水道ビジョン」の結びとします。



表紙：(右)青海島(昼)、(左)香月美術館

裏表紙：(右)千畳敷、(左)棚田(夜景)

長門市水道ビジョン【改定版】

平成29(2017)年3月策定

令和4(2022)年10月改定

長門市上下水道局

〒759-4192 長門市東深川1339番地2

TEL(総務係)0837-23-1169

(工務係)0837-23-1171

(建設係)0837-23-1170

(浄水場)0837-22-2145(下郷浄水場)